

(第7号様式の2)

事業報告書

1 事業名	「防災caf ぷらっと」開催による地域防災コミュニティ形成及び防災情報発信事業
2 実施期間	2023年 6月 ～ 2024年 2月
3 事業内容	<p>①具体的な実施内容（対象者や実施場所、何をいつ実施したかなど）</p> <p>【防災カフェぷらっと】</p> <p>対象者：防災に関心を持った一般市民、行政、自治会、企業など制限なし</p> <p>実施場所：なは新都心公園（緑化センター横の広場）</p> <p>実施日時：毎月第2日曜日 10:00~13:00 荒天中止</p> <p>実施方法：①テント及びまいまい号(動く非常持ち出し車)を設置し、訪れた参加者に「防災情報」を提供した。</p> <p>②各回毎に設定した「防災テーマ」(下記参照：実施項目は変更あり)に基づき、講師と参加者がざっくばらんに困り事や相談事、個人や地域の課題について意見交換を行なった。</p> <p>③各回のテーマに沿って参加者に簡単な意識調査（○×で答える）及びアンケートを行った。*アンケート別添あり</p> <p>6/11 夏場の非常時の避難について 講師：有村 博勝 参加者：大人13名・子供7名・わんこ3頭</p> <p>7/9 非常時の食事について 講師：有村 めぐみ 参加者：大人8名・子供2名・わんこ3頭</p> <p>8/13 災害時のストレスについて 講師：畑瀬 裕子 参加者：大人11名・子供2名・わんこ1頭</p> <p>9/10 災害と日本赤十字社について 講師：底原 春香 参加者：大人12名・子供2名・わんこ2頭</p> <p>10/8 災害弱者の避難について 講師：糸数 みき 参加者：大人13名・子供7名・わんこ3頭</p> <p>11/12 災害時の情報の取り方 講師：稲垣 暁 参加者：大人13名・子供7名・わんこ3頭</p>

<p>3 事業内容</p>	<p>12/10 防災キャンプについて 講師：宮平 未来 参加者：大人13名・子供7名・わんこ3頭</p> <p>1/14 地域と防災について 講師：宮城 潤 *この日は、ヤールーキャラバン@曙公園とコラボ開催 参加者：大人13名・子供7名・わんこ3頭 【合計参加者】101名←目標100名達成</p> <p>*7/16 那覇市久茂地祭り@緑ヶ丘公園にて、出張cafeぷらっと実施。</p> <p>④2/12 『那覇地域防災ネットワークフォーラム』@那覇市民活動センター開催</p> <p>冒頭で「防災cafeぷらっと」の総括を行い、「沖縄の地域特性と災害の危機想定」「能登半島地震の現状から沖縄に繋がること」の情報共有をした上で、市民参加型災害時のカテゴリー別課題の洗い出しと発表を行なった。</p> <p>*フォーラムのアンケート別添あり</p> <p>【防災情報発信】 防災cafeぷらっとで得た意識調査やアンケート結果を、SNS（FB、note）やFM那覇で担当している防災番組「Okinawa B-camp」で情報発信した。</p> <p>②事業の周知方法 DMPOのSNSやFM那覇で担当している防災番組「Okinawa B-camp」にて周知すると共にポスターを作成し配布する。また、2月のフォーラムに関しては、なは市民の友に掲載したり、市民活動支援センターのSNSでも参加を呼びかけた。開催に共感する企業や自治会、まちづくり協議会などでも呼びかけを行なった。</p>
---------------	---

<p>4 今回の達成目標とその確認方法</p>	<p>① 今回の達成目標（事業実施年度内に達成したい目標）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.防災cafeぷらっとの参加人数のべ100名。 2.DMPOnoteのフォロワー獲得数が参加者の5割 3.参加者に満足度アンケート4以上 <p>② 確認方法（達成目標が達成したかどのように確認（測定）するのか）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.毎回のテーマに沿ったアンケートの人数測定 2.毎回参加者にnoteの案内をしてフォローしてもらった数をカウントする。 3.参加者に満足度アンケートを実施する
<p>5 上記4の目標の達成度</p>	<p>Note自体を書けなかった点を除けば、100%</p>
<p>6 評価</p>	<p>① 良かった点、工夫したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『防災を日常に』をテーマに、まいまい号（動く非常持ち出し袋）展示や防災拠点である新都心公園の中に防災cafeを開催することで、ふと目にした所に防災情報がある状態を毎月繰り返し提供することで、市民に防災に対する興味付けが徐々に行えた。 ・自治会やまちづくり協議会、小学校PTCAが集まって話をする場に防災cafeぷらっとを使ってもらおうということもあり、その場で参加している行政職員や我々DMPOとも繋がるのが出来、共通の課題を共有することが出来た。 ・○✕で答える質問を作ったことで回答率が高かった ・事業の集大成として「那覇地域防災フォーラム」で総括及び次に繋げるアクションができた。 <p>② 苦勞したこと、改善点、今後に活かしたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぷらっと立ち寄ってもらおうという点では、通りかかった方が興味を持って寄ってくれるという事はあったのだが、中々1度寄ってくれた通りがかりの方がまた次に寄ってくれるという事が少なかった。一度で終わるのではなく何か繋がりを持った方が今後も興味を持ってもらえて循環できる工夫が出来たらと思う。 ・アンケートで得た市民の声を今後に活かしていく方法を検討する。

<p>7事業の効果・今後の展開（継続、内容変更、終了など）</p>	<p>① 事業の効果（対象や地域、社会にどう貢献したかなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の防災意識が向上し、備蓄品用意や家具固定など災害に対する備えを行動に起こすきっかけを作った。 ・自治会加入や自主防災組織への理解が増した。 ・市民だけではなく、行政関係者や防災関係団体、自治会などが防災cafeぷらっとに参加することにより、地域の顔の見える関係が生まれた。 ・事業の集大成として、那覇地域防災フォーラムを開催したが、1月に能登半島地震の現地広域支援を行った生の声も交えて出来たことは、参加者にとっても更にリアルに自分ごととして捉える事ができたようだ。 <p>② 今後の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇地域防災フォーラムでは、今回地域の課題抽出をしたので、引き続き課題解決編などをテーマにフォーラムを行う。 ・次年度は更に沖縄における災害支援ネットワーク構築に向けた「おきなわ防災ポケットプロジェクト（おきポケ）」実施に伴い、社会福祉協議会や企業、団体、関係行政などと更に広く繋がっていきたい。
<p>8 その他の意見、感想など</p>	<p>単発ではなく、9ヶ月継続して事業を行なったことで、地域の方々に防災意識が少しずつでも芽生えるきっかけになったのでやはり地道な活動は必要だと改めて感じた。</p>

9事業実施に関して協力（連携）した行政機関・他団体の有無。該当する箇所には☑等を記入してください。）、協力の内容について記入してください。

行政の協力（☑情報共有、ヒアリング ☐企画立案に協力 ☑告知の協力
☐ その他 の 他
（ ））

他団体の協力（☑情報共有、ヒアリング ☐企画立案に協力 ☑告知の協力
☐資金提供
☐ その他 の 他
（ ））

☐無し

行政や他団体への今後の連携についての期待・要望など

那覇市まちづくり協働推進課や防災危機管理課など関係機関とは、今後も災害に関する市民の意見の把握及び情報共有や防災啓発活動において、連携して取り組んでいきたい。また、次年度は更に沖縄における災害支援ネットワーク構築に向けた「おきなわ防災ポケットプロジェクト（おきポケ）」実施に伴い、社会福祉協議会や企業、団体、関係行政などと更に広く繋がっていきたい。